

提言 1 生成AI研究開発の望ましい体制



① 生成AIの技術開発を国家戦略として位置づける

予算の確保
研究体制の整備
学術間や産学官の連携
オープンな研究開発の支援

② 生成AIの研究基盤の強化と 国際的研究連携の推進

研究資源の拡充
データインフラの構築
データ共有
国際的な知見共有や人材交流の加速化

③ 生成AI開発における透明性の確保と AIガバナンスへの包括的な取り組み

ガイドラインの作成
問題を回避するための技術開発
国際的ルールメイキングへの関与

提言 2 生成AIモデルの適切な運用



① 生成AIに対する攻撃を検知・回避する 頑健なシステム構築

ベンチマーク作成・評価
改竄されていないことを証明する仕組み

② AI利用のリスク最小化と迅速に問題に 対処する体制の整備

技術的特性や倫理的影響
AI技術の標準化

③ 人間中心の原則に基づく持続可能な社会 の実現に向けたAI利活用の継続的議論

人間中心の原則
インセンティブ設計や規制設計

【提言】 生成AIを 受容・活用する社会の 実現に向けて



提言 4 生成AIモデル以降の教育とリテラシー

① AIとの共存・共生のための社会変革に 対応する人材育成

リスキング
教育プログラムの推進
地域格差の解消

日本学術会議 第26期
記者会見(令和7年2月27日)
資料1-2

② AIとの共存を目指した新たな教育への転換

AIの批判的利用
課題解決
創造
ELSI
先進事例の共有

③ AIの学際性を活用するための学術分野間 および産学間の対話・連携の促進

広いステークホルダー間の議論



提言 3 責任ある生成AI実装に向けた制度設計

① アジャイルかつマルチステークホルダー型の ガバナンスの志向

最適な価値のバランス
官民の役割の変化

② 政府の役割：オープンなルール形成・情報共有の促進、 制裁に関する新たな制度設計

枠組みやツールの提供
法令の解釈に関するガイダンス
ベストプラクティスの共有

③ 民間主体の役割：主体的なリスク評価とAIベネフィットの 最大化、ガバナンスの恒常的な改善

十分な質と量の情報開示
アカウンタビリティ
ステークホルダーからのフィードバック